

三条市子ども・若者総合サポートシステム
平成 23 年度活動実績・平成 24 年度活動計画
【 虐 待 防 止 部 会 】

《平成 23 年度活動実績》

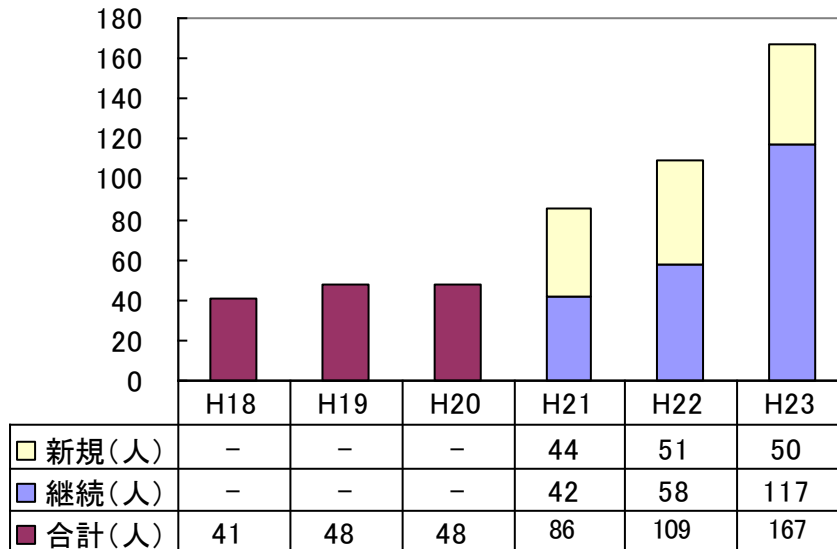
1 虐待防止部会 対象者の把握状況と対応

(1)ア. 虐待管理件数（平成 24 年 3 月末現在）

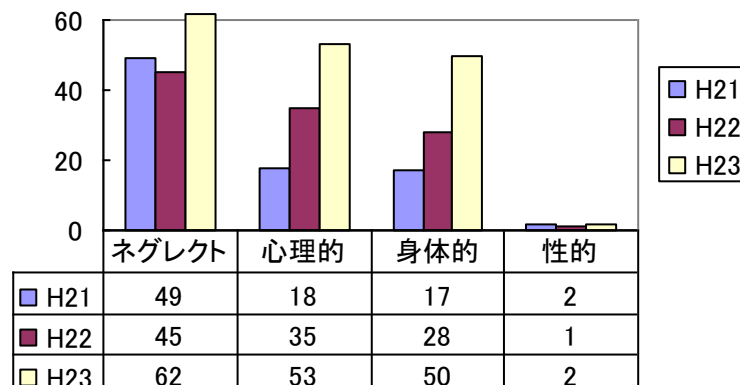
区分	虐待			
人数（人）	116 （再）特定妊婦 1			
他の区分と重複している件数	非行 2	不登校 6	障がい 19	若者 —

イ. 子どもの虐待に関する相談状況（平成 23 年度累計）

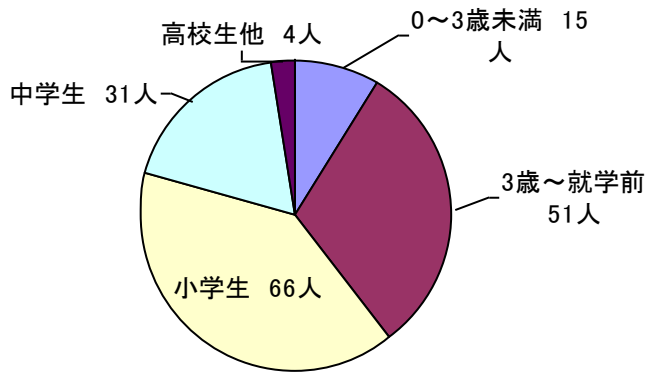
①相談件数（被相談者数）



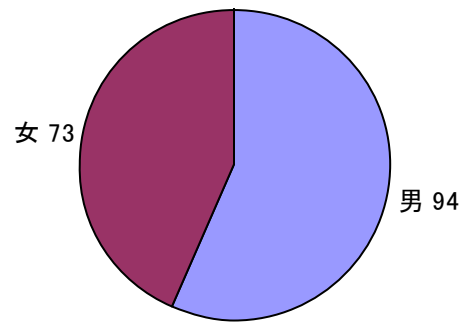
種類別内訳の推移



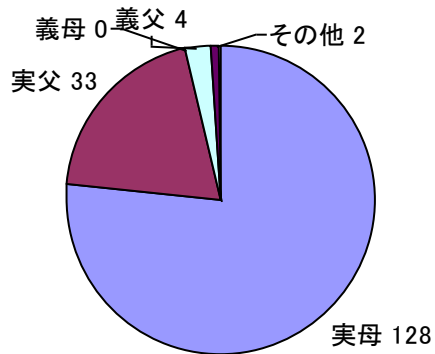
年齢別内訳



男女別内訳



主な虐待者別



※その他の内訳：祖母

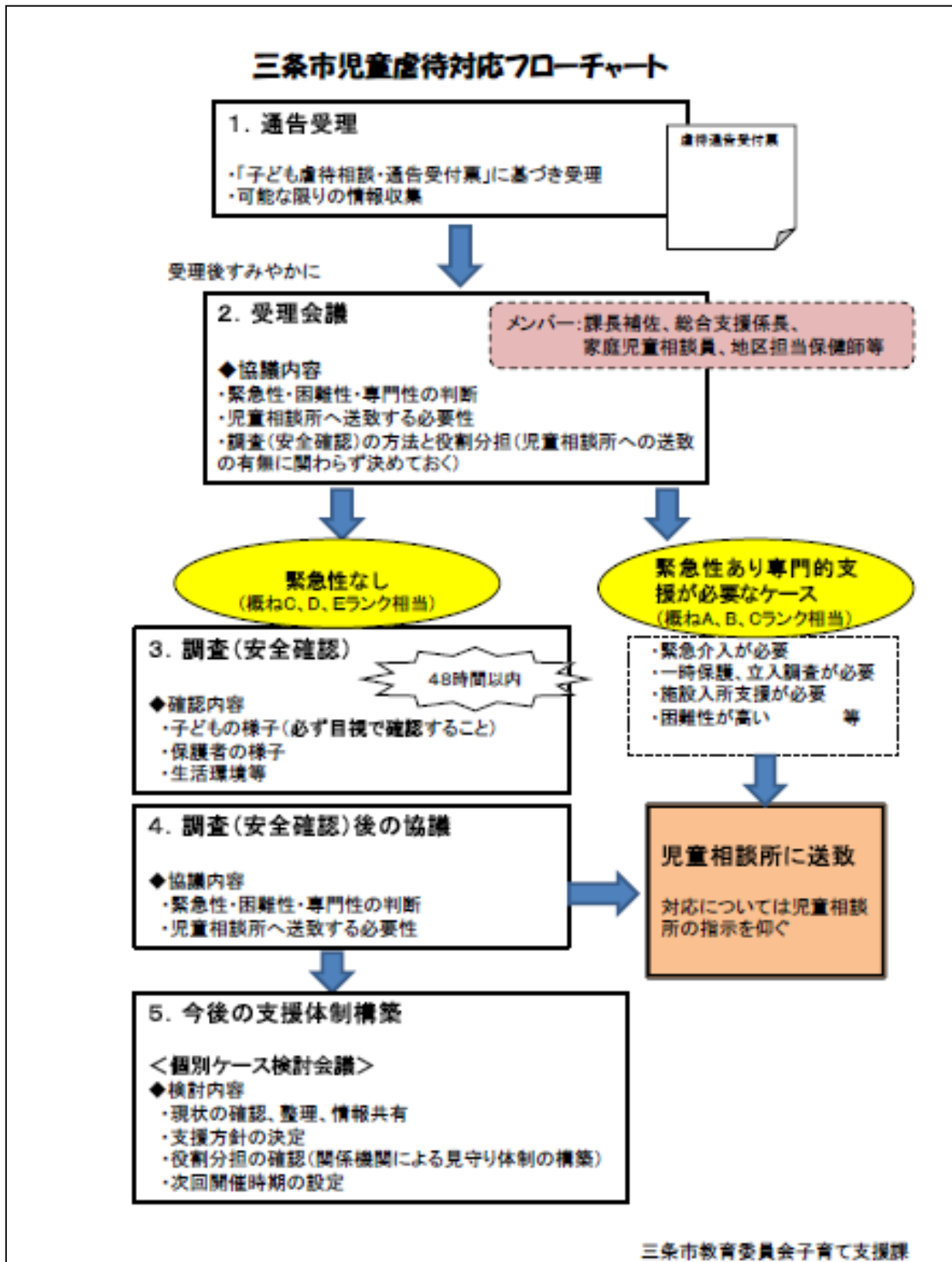
受付経路別

	家族 親戚	近隣 知人	保育所(園) ・幼稚園	福祉 事務所	小・中 学校	児童相 談所	その他	計
被相談者(人)	24	19	21	24	36	19	24	167
割合 (%)	14.4	11.4	12.5	14.4	21.5	11.4	14.4	100

②一時保護・施設入所（重複有）

	一時保護	施設入所	計
件数	11	4	15
人数	9	6	15

(2) 受理後の対応



2 虐待防止部会 会議開催状況

会議名	回	月 日	場 所	内 容 等	参加 機関数
実務者会議	第1回	10月31日	三条市役所 栄 庁 舎	・ケース進行管理検討会議について（実績報告） ・困難事例検討	17機関
実務者会議 〈ケース進行管理検討会議〉	第1回	6月24日	三条市役所 栄 庁 舎	全ケースについての支援体制の確認	9機関
	第2回	9月29日			7機関
	第3回	1月6日			7機関
	第4回	3月6日			6機関
個別ケース検討会議	31回	ケース関係者が参集し、情報共有、支援体制の構築、支援の役割分担について検討を行った。			

3 啓発活動

児童虐待防止を目的とした市民及び関係機関に向けた啓発活動を実施した。

- (1) 11月の「児童虐待防止推進月間」を中心に、国や県からのポスター・チラシ・カードなどを活用し市民に広報
- (2) 燕三条FMで広報
- (3) 保育所（園）・学校の実務担当者に対して、児童虐待対応について周知
- (4) 広報さんじょう 11月1日号で児童虐待防止について特集

4 研修会・講演会

題名	月 日	場 所	内 容 等	参加 人数
虐待防止部会 専門研修会 (全2回コース)	【目的】 保育施設における虐待の早期発見と発見後の対応・支援のあり方について学ぶ			
	第1回 7月27日 (水)	三条市役所 栄 庁 舎	講 義：早期発見の重要性と発見後の対応について 講 師：中央児童相談所職員 グループ討議（情報交換）： 各所属における虐待の発見や対応において迷った点や困った点 対象者： 市内保育所（園）長・幼稚園長を補佐する立場の主任級職員	33人
第2回 11月9日 (水)	講 義：虐待発見後の園での対応について 講 師：中央児童相談所職員 グループ討議（情報交換）： 第1回目の研修内容を各所属施設内で復命した結果について等 対象者： 市内保育所（園）長・幼稚園長を補佐する立場の主任級職員		32人	

題名	月 日	場 所	内 容 等	参加 人数
子どもの虐待 防止講演会	【目的】子育ての負担感や不安感・孤立感を軽減することによって、虐待の早期予防につなげる。			
	11月19日 (土)	栄保健 センター	演 題：完璧なママよりハッピーなママに 講 師：NP JAPAN ファシリテーター 傳 優子 氏 対象者：市民 子ども・若者総合サポート会議虐待防止部会関係機関職員	32人

5 成果・課題

活動の成果	活動から見えてきた課題
<ul style="list-style-type: none"> ・専門研修会を2回コースで実施。研修内容について所属施設で復命することを研修課題とした結果、虐待の早期発見の必要性、発見後の対応、支援のあり方について再確認でき、職員間で共有することができた。 ・今まで通告に至らなかった傷や痣でも連絡が来るようになり、関係機関職員に虐待の早期発見と通告の必要性が認識されてきた。 ・虐待防止講演会では、参加者同士が話し合いながら問題解決プロセスを体験する、参加型の形態を取り入れて実施した。参加者は、お互いの子育ての悩みや不安を話し気持ちが楽になった、共感してもらえてうれしかった等の感想があり、孤立感や不安感の軽減につながった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関職員に早期対応の必要性を伝えているが、保護者との関係性を重視したり、虐待かどうか疑わしい等の理由から、通告を躊躇し、対応が遅くなってしまう場合があった。今後も早期発見・早期対応の必要性、通告義務について周知していく必要がある。 ・進級・進学や転籍・転校により所属が変わる時、または担当職員が変わる時に、被虐待児の引き継ぎがされていない場合があった。子どもの様子の変化に気づき、早期に対応できるようにするために、引き継ぎを確実にすることと、見守りの必要性を今後も関係機関に伝えていく。 ・虐待対応だけでなく、虐待予防のための取り組みについても、今後更に力を入れていく必要がある。

《平成24年度活動計画》

1 会議開催予定

会議名	回	月	場 所	内 容 等
実務者会議	第1回	9月	三条市役所 栄庁舎	ケース進行管理検討会議の実績報告・事例検討
	第2回	2月		
実務者会議 <ケース進行管理検討会議>	第1回	6月	三条市役所 栄庁舎	虐待ケースの状況の確認、援助方法等の確認・見直し
	第2回	9月		
	第3回	12月		
	第4回	3月		
個別ケース検討会議	随時		情報共有、支援体制の構築、支援の役割分担	

2 啓発活動

児童虐待防止を目的とした市民及び関係機関に向けた啓発活動を実施する。

- (1) 11月の「児童虐待防止推進月間」を中心に、国や県からのポスター・チラシ・カードなどを活用し市民に広報
- (2) 燕三条FMで広報
- (3) 保育所（園）・学校の実務担当者に対して、児童虐待対応について周知

3 研修会・講演会

題名	月 日	場 所	内 容 等	参加 予定人数
専門研修会	【目的】 児童虐待の早期発見、対応からその後の支援、見守りについて事例検討、演習を通して資質向上を図る。			
	未定	未 定	未 定	未定
未定				
子どもの虐待 防止講演会	【目的】 児童虐待防止の意識啓発を図る。			
	11月頃	未定	講 演：未定 対象者：市民	50人 程度
子育て講座 NP (Nobody's Perfect) 講座	【目的】 乳幼児を持つ保護者の育児不安を軽減する事により、児童虐待を予防する。			
	6～7月	東公民館	NP (Nobody's Perfect) プログラム (※) の実施。 全6回コースを4回実施予定 対象者：0～3歳の子どもを持つ子育て中の親	各回 10人 程度
	8～9月	すまいるランド		
	10～11月	総合福祉センター		
11～12月	すまいるランド			

※ NP (Nobody's Perfect～完璧な親なんていない～) プログラム：

カナダ生まれの子育て中の親支援プログラム。0から5歳の児童の親を対象に、参加者が抱えている悩みや関心のあることをグループで話し合いながら、自分に合った子育ての仕方を学ぶもの。研修を受けたファシリテーターにより親自身の気づきを促し、子育ての前向きな方法を見出せるよう手助けする。参加者同士の仲間づくりの支援も含む。